

緑と清流のまち

わかさ 議会だより

第186号
令和6年
5月号
WAKASA TOWN



議会事務局のアドレスへ

若桜の匠

宮本製菓
和菓子職人

宮本 **すすむ 進さん**



- P2~3 令和6年度 一般会計予算
- P4~5 令和5年度 一般会計補正予算
- P6~7 審議・討論
- P8~13 一般質問
- P14~17 常任委員会報告(抜粋)
- P18 議会表彰関係
- P19 議会からのお知らせ
- P20 わたしの想い(山根さん)

大きな柱に！

健康マージャン をやるうぜ

町民課

ねんりんピック事業 713万円



7人大会

- 全国健康福祉祭（愛称：ねんりんピック）全国の都道府県で持ち回り開催されているスポーツ大会・文化交流大会で、本町において健康マージャン交流大会の開催運営を行うもの。

物価高騰！ 生活支援を

令和6年度当初予算 一般会計総額 43億9600万円で スタート

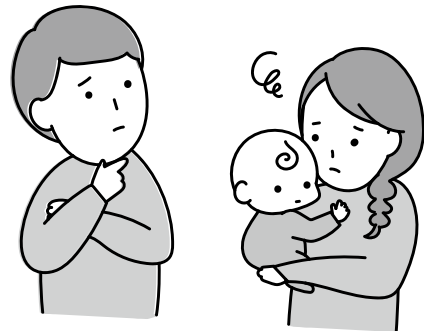
依存財源（76.1%） 33億4515万円

自主財源（23.9%） 10億5085万円

補正項目は一部の掲載となっています。

福祉保健課

住民税非課税世帯給付金事業 1364万円



- 令和6年度個人住民税が非課税となった者のみで構成されている世帯。 給付額：世帯当たり 10万円
- 令和6年度個人住民税において、所得割が課せられていない者のみで構成されている世帯。 給付額：世帯当たり 10万円
- 前2項と同世帯となっている18歳以下の児童。 給付額：児童1人当たり 5万円

※問い合わせ先
福祉保健課 TEL 82-2232

第2回

3月定例会

(令和6年3月11日～22日)

人口減少問題を

買い物支援を
全力で!

企画政策課

買い物環境整備対策事業 5825万円



駅前ビル

- 若桜町駅前ビル管理運営事業 3410万円
土地・建物購入、建物改修工事費、その他管理運営費等をするもの。
- 事業者支援事業 2414万円
食品スーパー、移動販売、宅配弁当等を対象とするもの。

企画政策課

中山間地域振興事業 2621万円



旧池田小学校

- 池田地区振興事業 621万円
池田地区に集落支援員を設置し、地区の見守りや課題解決、旧池田小学校の活用方法を検討するもの。
- 菴米分校の利活用 2000万円
一部を交流スペースとして改修し、民間事業者の誘致に向けた検討を進めるもの。

特別会計

事業名	本年度予算額
国民健康保険	4億5947万円
介護保険	6億8100万円
後期高齢者医療	7659万円
赤松団地造成	56万円
財産区造林	218万円
索道	9250万円
住宅新築資金等貸付	50万円

旧池田小学校・
菴米分校
急がれる利活用

ンを走らせよう!

経済産業課

若桜材需要拡大推進事業 5462万円



木材乾燥機

- 近年の製品需要は、乾燥材での納品が必須となっているが、現在所有の乾燥機だけでは、十分な供給ができていないため行うもの。
- この事業は、国県補助で行われる。

町産木材 需要拡大を

保存事業の 早期推進を

令和5年度 一般会計補正予算 (第8号)

6400万円 減額

総額 44億 5236万円

補正項目は一部の掲載となっています。

経済産業課

伝統的建造物群保存地区 保存事業 ▲1296万円



保存地区

- 保存整備事業内容の変更により、補助金の減額を行うもの。

主な事業

DL・ブルートレイ

企画政策課

若桜鉄道対策事業
2207万円
(内) 638万円



○若桜鉄道SL等活用検討委員会での検討の結果、D
Lと12系客車を観光列車として本線運行を目指すこ
ととなった。そのため、運行に必要な費用等を明確
にするための調査を行うもの。

**DL・12系客車
本線運行を
目指す!**

※DL…ディーゼル機関車
※12系客車…ブルートレイ

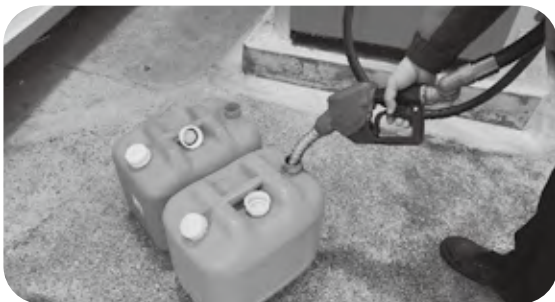
令和6年第1回若桜町議会臨時会

(令和6年1月24日)

令和5年度一般会計補正予算 (第7号)

経済産業課

商工振興事業
1524万円



○原油価格等の高騰による物価高の影響によ
り、事業活動に著しい支障が生じている中
小企業者に対し、エネルギー関連経費高騰
分の助成を行うもの。

**2719万円追加
総額**

45億1636万円

**事業者の燃料費
応援!**

会 計 一 般	令和6年度若桜町下水道事業会計予算 収益的収入及び支出の予定額は、それぞれ2億4585万円と定める。	可決	
	若桜町営バスの管理及び運行に関する条例の一部改正 地域コミュニティタクシー落折・小船線の本格運行に伴い、所要の改正を行うもの。	可決	
	若桜町職員定数条例の一部改正 新たな行政課題や複雑化する業務に伴い、町長部局の職員定数を増やし不測の職員配置に伴う増減に対応するため。	可決	
	職員の育児休業等に関する条例の一部改正 地方自治法の改正により、会計年度任用職員に対する勤勉手当の支給を行うことに伴い、所要の改正を行うもの。	可決	
	若桜町会計年度任用職員の給与及び費用弁済に関する条例の一部改正 地方自治法の改正により、会計年度任用職員に対する勤勉手当の支給を行うことに伴い、所要の改正を行うもの。	可決	
	若桜町技能労務職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正 地方自治法の改正により、会計年度任用職員に対する勤勉手当の支給を行うことに伴い、所要の改正を行うもの。	可決	
	若桜町空家等の適正管理に関する条例の一部改正 空家等対策の推進に関する特別措置法が改正されたことに伴い、所要の改正を行うもの。	可決	
	若桜町介護保険条例の一部改正 高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定・第1号保険料の多段化に伴い、保険料率の期間・区分を改正するもの。	可決	
	若桜町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正 地方自治法の改正により、会計年度任用職員に対する勤勉手当の支給を行うことに伴い、所要の改正を行うもの。	可決	
	若桜町簡易水道事業給水条例の一部改正 若桜町簡易水道事業の一部完了に伴い、料金統一に向けて所要の改正を行うもの。	可決	
	若桜町簡易水道事業財政調整基金の設置、管理及び処分に関する条例及び貸付用量水器購入基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止 若桜町簡易水道事業において地方公営企業法を適用に係る関係条例を整備することに伴い、条令の廃止を行うもの。	可決	
	条 例	公の施設の指定管理者の選定（若桜町立地域福祉センター・ドリーミー） 公の施設の名称 若桜町立地域福祉センター・ドリーミー 指 定 管 理 者 社会福祉法人 若桜町社会福祉協議会 指 定 の 期 間 令和6年4月1日から令和11年3月31日	可決
		若桜町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定 町と議員との間の請負に関して、報告や公表を義務付けるもの。	可決
	議 員 提 出 議 案	人口減少問題調査特別委員会の設置 人口減少に関することを調査する。	可決
		その他	



原案に対して 賛否の分かれた議案

「○」 賛成、「×」 反対
「議」 議長（採決は議長を除く）

第2回議会定例会 3月11日～22日

氏 名	谷口 貴	森田 二郎	梶原 明	山本 安雄	山本 晴隆	川上 守	中尾 理明	小林 誠	山根 政彦	結 果
令和6年度若桜町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	議	可決

原案反対 中尾理明

高野支部補助金135万1千円に反対です。当該特別措置法は失効しており、法的根拠がなく、同和行政は終結したため、一般行政にすべきです。差別・差別事象が社会的に受け入れない民主主義の力を強めることこそ重要です。

一目でわかる 審議結果

第1回議会臨時会 1月24日

補正予算	令和5年度若桜町一般会計補正予算（第7号） 2719万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ45億1636万円とする。	可決
	令和5年度若桜町介護保険事業特別会計補正予算（第4号） 341万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ7億1718万円とする。	可決
条例	若桜町手数料徴収条例の一部改正 戸籍法の一部改正に伴い、若桜町手数料条令の一部を改正するもの。	可決
その他	業務委託契約の変更契約の締結 業務名 若桜町IRU告知システム等更改業務 契約の相手方 西日本電信電話株式会社 鳥取支店 変更前 1億3640万円 変更後 1億3342万100円	可決

第2回議会定例会 3月11日～22日

補正予算	令和5年度若桜町一般会計補正予算（第8号） 6400万円を減額し、歳入歳出予算をそれぞれ44億5236万円とする。	可決
	令和5年度若桜町介護保険事業特別会計補正予算（第5号） 7028万円を減額し、歳入歳出予算をそれぞれ6億4690万円とする。	可決
	令和5年度若桜町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 142万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ6575万円とする。	可決
	令和5年度若桜町簡易水道事業特別会計補正予算（第6号） 8516万円を減額し、歳入歳出予算をそれぞれ2億5279万円とする。	可決
	令和5年度若桜町公共下水道事業特別会計補正予算（第4号） 300万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ2億1008万円とする。	可決
	令和5年度若桜町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号） 1億1598万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ1億7970万円とする。	可決
	令和5年度財産区造林特別会計補正予算（第1号） 178万円を減額し、歳入歳出予算をそれぞれ79万円とする。	可決
	令和5年度若桜町索道事業特別会計補正予算（第2号） 39万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ6479万円とする。	可決
	令和5年度若桜町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号） 339万円を減額し、歳入歳出予算をそれぞれ50万円とする。	可決
	一般会計	令和6年度若桜町一般会計予算 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ43億9600万円と定める。
令和6年度若桜町国民健康保険事業特別会計予算 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ4億5947万円と定める。		可決
令和6年度若桜町介護保険事業特別会計予算 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ6億8100万円と定める。		可決
令和6年度若桜町後期高齢者医療特別会計予算 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ7659万円と定める。		可決
令和6年度若桜町赤松団地造成事業特別会計予算 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ56万円と定める。		可決
令和6年度財産区造林特別会計予算 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ218万円と定める。		可決
令和6年度若桜町索道事業特別会計予算 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ9250万円と定める。		可決
令和6年度若桜町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ50万円と定める。		可決
令和6年度若桜町簡易水道事業会計予算 収益的収入及び支出の予定額は、それぞれ1億2201万円と定める。		可決

質問議員 ページ	質問事項
川上 守 P. 9	① 主権者教育について ② 人口減少対策について
谷口 貴 P.10	① 人口減少対策について
中尾 理明 P.11	① 町の保健・医療・福祉施策について ② 騒音測定器設置に向けた低空飛行訓練調査について ③ 自衛隊への個人情報提供について
森田 二郎 P.12	① 地震による被災時のライフライン確保について
山本 安雄 P.13	① 人口減少対策について ② Jクレジット認証の進捗について

- ・各一般質問の主な内容を各議員が要約して掲載しています。
- ・一般質問の全ての内容については、スマホ、タブレット等でQRコードを読み込むと、ご視聴になれます。

町政を問う

一般質問

一般質問とは

議員が町の行財政全般、住民生活に密接していることに対して、執行状況または将来の方針、政策的提言や行政の課題などを町長や執行機関に直接質すことです。



オーダーメイドツアー



川上 守

人口減少対策

Q 対策は、政策の推進か転換か
A 政策を組み合わせ、推進する

Q 若桜町の人口は、2760人と減少傾向です。それにもない、生産年齢人口も、かなりのス

ピードで減少しています。報道によると、15歳〜64歳の生産年齢人口は、2020年の1279人から2050

年で357人に減少すると推計されています。現在の政策を推進しても、生産年齢人口は、3分の1以下になるということですが、この状況をどのように考えるか伺います。

A (町長) 人口減少の最優先課題と想っています。有効な対策を早く打たなければ、減少のペースは加速していくという推計が出ています。簡単なことではありませんが、施策によって減少のペースを緩和できるよう、そして、減少に歯止めがかかるよう、しっかりと

と取り組んでいきたいと思っています。

Q 2040年の推計人口(1570人)は総合計画の目標値(2000人)よりかなり減少しています。目標値に近づけるには、現在の政策の一層の推進か、あるいは、大きな政策転換を行うことも必要と思うが考えを伺います。

A (町長) 地域経済を振興して、雇用をしっかりと確保することが、基本であると考えています。そのために、地域に入ってくるお金を増やすことと、入ったお金が外に流出しないよう、地域で幾重にも循環をさせることが大切だと思っています。基幹産業である農林業で、付加価値を高めていくこと、お金の落ちる観



移住体験ツアー

光を目指していくことが、必要になってきます。また、様々な分野で、起業を促進することも有効であり、地産地消の取組が不可欠です。各課横断的に連携を高め、施策を組み合わせることで、人口推計に対して少しでもあがっていきたいと考えています。

何度も行きたいまちを、見つけよう。



第2のふるさと

A NEW HOMETOWN

Sやホームページ、各案をしています。SNSのフォロワーの数を増やすための予算を、提案をしています。SNSやホームページ、各

も可能性を探っていきたいと思っています。種メディアも含めて積極的な情報発信に努めたいと思っています。

たいと考えています。まずは、お互いに信頼関係を築き、個々の連携事業を一つ一つ成功させていくことが、将

来的にサテライトキャンプスや、学生寮の誘致につながっていくと考えています。

Q 人口減少が進む中、地域を元気に出来る第三の人口、いわゆる関係人口が多くなれば人口が人になっても活力のある元気な町になると思います。人口を増やすために、若桜町の魅力

A (町長) 総務省の定義により、移住した定住人口でも

なく、観光に来た交流人口でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉とされています。関係人口に着目することは、有意義なことであると思います。しかしながら、関係人口の増加や関係性の維持強化に向けた施策や魅力の発信は、まだ十分とは言えないと思っています。関係人口を増やすためには、町の魅力を効果的に発信して、知っていただくことが必要です。来年度、少し力を入れてSNSのフォロワーの数を増やすための予算を、提案をしています。SNSやホームページ、各

Q 若桜町を第2のふる里だと思っていたり、近隣にある高校・大学のサテライトキャンパス、学生寮を誘致する方法もあると思いますが、町長の所見を伺います。

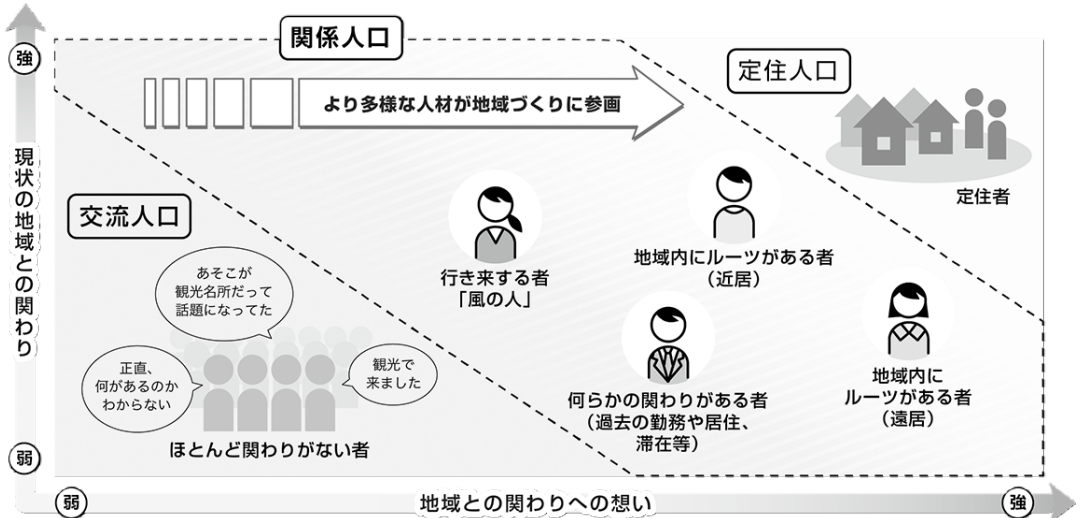
A (町長) 地域に若者が入ってくることで、地域が元気になり、消費活動により地域経済に好影響が得られることが、期待されます。鳥取大学と3月25日に包括的連携協定を締結する予定ですし、鳥取環境大学とも4月以降、同様な協定を締結する準備を進めています。こうした協定の中で、サテライトキャンパスについても可能性を探ってい



谷口 貴

人口減少対策

Q 関係人口を増やすためには
A 町の魅力を効果的に発信





高齢者用の補聴器

Q 高齢者で加齢性(老人性)難聴による生活上困難な方は、少なくありません。60歳代後半頃から、症状が現れる人が多く、

80歳代で男性の8割、女性の7割以上の人が難聴を示し、難聴状態が続くと認知症の一因となるとされています。2021年厚生労働省も加齢性難聴への取組強化について提言しています。全国239自治体で、軽度、中度の高齢者等に、補聴器助成が行われていると伝えられ、県内でも1市8町が補助制度を実施しています。認知症予防、介護予防のために、加齢性難聴への補助制度を創設すべきではないですか。

A (町長) 令和4年に県聴覚障害者協会など関係5団体が、「聞こえない・聞こえにくい人及び子ども福祉向上」等の要望書を、県内市町村に提出されました。その

中に、「身体障害者手帳を持たない、聞こえにくい人及び子どもへの補聴器の公費助成」の要望があります。この要望を受け、町単独では財政的に困難なため、本年度県の町村会を通じて鳥取県に対して、身体障害者手帳対象外の方に対する補聴器購入等への助成制度創設の要望を行います。

この要望に対して県からは、例えば見えづらさ等その他の障がいとの公平性をどう考えるか等の論点について、団体、市町村と議論を進めるとのことです。町としては、今後の動向を注視し、検討していきたいと思えます。聞こえづらさを感じる方のうち、6割以上の方が医師に相談されていないとの調査結果もあり、まず、専門医に相談していただき、

Q 岩美町は新年度助成額を4万円に引き上げて実施とのこと。改めて制度創設を望みたいと思えます。

A (町長) 認知症の危険因子の1番が難聴とのこと。補聴器の補助については、県の町村会を通じて、県要望したのが昨年初めてです。今後、県の動向なりも参考にしながら検討していきたいと思えます。

手帳の取得可能性の検討も必要だと考えます。



認知症予防講習会



中尾理明

高齢者福祉施策

A

県に対して要望中

Q

加齢性難聴者への補助制度創設を



災害時協力井戸

計の制度上、工事経費は、利用料金に跳ね返るため、慎重に取り組む必要があります。配水施設などは、耐震整備は行っていません。水道施設の統合事業で整備をした、刈見地区と若桜地区の配水池、赤松の受水槽には、震度5程度の揺れで流出管への流出が止まるサイフォン遮水システム

井戸水が飲める状態にない場合の対応として、浄水装置等の配備について考えを伺います。

(町長) 現在、水道技術管理者

の資格を有する職員が3名在籍をしております。所管である地域整備課には、1名配属しています。職員の退職や人事異動等も考慮して、来年度は、資格取得講習会に職員を1名派遣するとともに、今いる職員から知識と経験を学べるように、人材育成を図っていきます。

水道管理体制における、水道技術管理者の配置や人材育成について考えを伺います。

の資格を有する職員が3名在籍をしております。所管である地域整備課には、1名配属しています。職員の退職や人事異動等も考慮して、来年度は、資格取得講習会に職員を1名派遣するとともに、今いる職員から知識と経験を学べるように、人材育成を図っていきます。

(町長) 持ち運べる浄水施設も配備できないか、検討したいと思います。

の資格を有する職員が3名在籍をしております。所管である地域整備課には、1名配属しています。職員の退職や人事異動等も考慮して、来年度は、資格取得講習会に職員を1名派遣するとともに、今いる職員から知識と経験を学べるように、人材育成を図っていきます。



毎時4000ℓ浄水できる浄水装置

若桜町に能登半島と同程度の地震が起きた場合に備え、上水道はどの程度の耐震対策が進んでいるのか伺います。

(町長) 令和4年度末現在で、導水管、送水管、配水管の総管路延のうち、耐震管は全体の約8.4%です。主要管路の一部には通常のポリエチレン管に離脱し難しい工法を採用しています。高密度ポリエチレン管に比べると耐震性は低く、耐震化が進んでいるとは言い難い状況です。管の布設替えには、多額な予算と時間を要し、公営企業会計の制度上、工事経費は、利用料金に跳ね返るため、慎重に取り組む必要があります。配水施設などは、耐震整備は行っていません。水道施設の統合事業で整備をした、刈見地区と若桜地区の配水池、赤松の受水槽には、震度5程度の揺れで流出管への流出が止まるサイフォン遮水システム

チレン管に離脱し難しい工法を採用しています。高密度ポリエチレン管に比べると耐震性は低く、耐震化が進んでいるとは言い難い状況です。管の布設替えには、多額な予算と時間を要し、公営企業会計の制度上、工事経費は、利用料金に跳ね返るため、慎重に取り組む必要があります。配水施設などは、耐震整備は行っていません。水道施設の統合事業で整備をした、刈見地区と若桜地区の配水池、赤松の受水槽には、震度5程度の揺れで流出管への流出が止まるサイフォン遮水システム

(町長) 被災者への応急給水のため、新年度予算で停電時にも井戸から給水するためのポンプ用発電機を2台購入し、水道水の確保を行います。さらには、災害時協力井戸(町内8か所)を広く周知し、登録の拡充に向けても取り組みます。被害状況を迅速に、的確に把握をし、県や関係機関と連携して対応します。

(町長) 被災者への応急給水のため、新年度予算で停電時にも井戸から給水するためのポンプ用発電機を2台購入し、水道水の確保を行います。さらには、災害時協力井戸(町内8か所)を広く周知し、登録の拡充に向けても取り組みます。被害状況を迅速に、的確に把握をし、県や関係機関と連携して対応します。

の資格を有する職員が3名在籍をしております。所管である地域整備課には、1名配属しています。職員の退職や人事異動等も考慮して、来年度は、資格取得講習会に職員を1名派遣するとともに、今いる職員から知識と経験を学べるように、人材育成を図っていきます。



森田二郎

ライフライン確保

大地震に備えた上水道の耐震対策は、飲み水確保に向け、慎重に取り組む





中原町有林

A (町長)プロジェクト計画書を作成中です。計画書作成後、令和6年度の認証委員会に諮る予定です。プロジェクト計画書は1990年4月以降に間伐を行った森林の二酸化炭素吸収量が算定対象とされているため、間伐履歴の確認と、それを証明する伐採届や補助事業の関係書類等、データ確認に、

A (町長)令和6年度プロジェクト登録がなされた後、1年間プロジェクトを実施し、その後、モニタリング報告、クレジット認証手続を行います。クレジットの認

Q 認証の目標時期、販売方法の考えを伺います。

A (町長)過去の施業によるものと併せて、これからの森林の施業に係る部分も対象になってきます。

Q これから実施する伐採や間伐等の施業についても、クレジットの申請はできるものと承知しておりますが、どのように考えますか。

予想以上の時間を要しています。

証時期は最も早くても令和7年度中になりませぬ。クレジットの販売方法は、先行している日南町では、地元金融機関や生命保険会社に、クレジット地域コーディネート仲介契約企業として協力していただき、県内外の企業とのマッチング、仲介が積極的に行われます。特にここ数年、飛躍的に販売数量を伸ばしています。本町も既に何社から話を伺っております。今後、クレジット認証手続と並行して、認証後の具体的な販売方法についても、より深く検討を進めていきたいと考えています。

※「Jクレジット」
省エネルギー機器の導入や森林経営等の取組によるCO₂等の温室効果ガス排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。

Q ※Jクレジットト認証の進捗については令和2年3月定例会で、地域内エコ

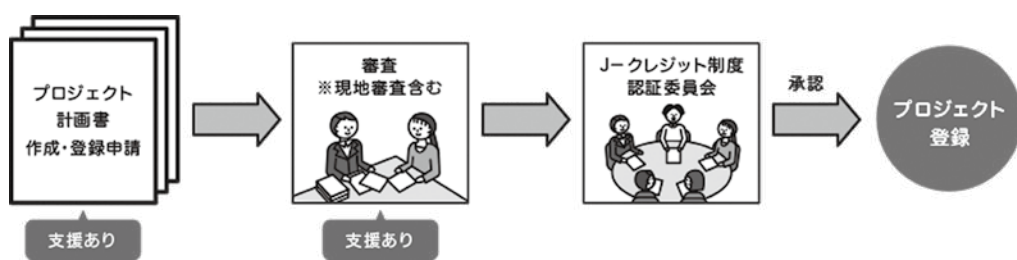
システム検討協議会を立ち上げ、具体的な検討を行うと答弁をいただきました。令和5年



Jクレジット認証

A データ確認に時間を要している

Q 進捗状況と課題は



Jクレジット認証過程

委員会報告 (抜粋)

常任委員会開催日

第1回	1月11日	木曜日
第2回	1月23日	火曜日
第3回	3月5日	火曜日
	3月6日	水曜日



町営バス

町営バス利便性向上へ

若桜町営バスの管理及び運行に関する条例を一部改正する条例

企画政策課

説明

地域コミュニティタクシー落折・小船線の本格運行に伴う運賃創設のため、改正を行う。また、地域コミュニティタクシーは該当集落から若桜駅周辺までの片道運行であり、定期路線バス運行ルートと重複しているため、路線定期の括りとして、路線定期バスと同額の利用料金を徴収していたが、運行路線及び運行区域の表示が不明瞭であるため「地域コミュニティタクシー」を新たに追加する。

施行日：令和6年4月1日

意見



コミュニティタクシーの利用料は100円だが、デマンドの料金は高い。今後の考え方は。



今後も検討していく。



諸鹿線の路線バス廃止にともなうデマンドタクシー料金の緩和措置期間が終わったが、料金の見直しは。



他に公共交通が無いので、検討する。



グリーンスローモビリティの導入について、運転手賃金は、特定地域事業の対象になるのか。



組合加入できる事業所が受ければ可能。

○意見の標記

Q : 質問・質疑 A : 回答

O : 意見

総務産業教育民生常任

DD16形ディーゼル機関車
とブルートレイン運行を

DL 観光列車運行事業の提案

企画政策課

説明

「若桜鉄道SL等活用検討委員会」は、観光事業で有効活用が期待できる12系客車とDD16形ディーゼル機関車(以下：DL)を観光列車として編成し、かつ本線運転を目指すことを提案された。

意見

Q

全国に2台しかないDLを本線運行すれば、全国でも唯一となり、観光の目玉にもなると思うが。

A

車両の修復・運行のため実車調査が必要となるが、数百万単位の経費が掛かる。

O

老朽化に伴う新型車両導入の案件もあるので、高額な事業費となる。DL運行との兼ね合いを慎重に検討すべきと考える。

Q

若桜鉄道対策事業委託料の内容は、運行させる判断材料にするのか。

A

DL、12系客車の実車調査や費用の見積を取りたい。SL走行するための見積から10年経過しているため、八頭町と協議をするために、しっかりとした見積は必要。その後、協議の材料にもなる。
(SNS等で鉄道車両の閲覧数が28万人と多く、応援メッセージ、クラウドファンディング協力などの意見もあった。)

Q

他の鉄道会社に廃線を含め使用できる車両は無いのか。

A

近隣の地域に当たってみたい。

Q

SL等活用検討委員会のメンバーは、寄付集めなど協力してもらえるのか。

A

メンバーは10名程度で、協力は得られると考えている。クラウドファンディング等が決まれば、役割分担して協力を得られると思う。

Q

八頭町の雰囲気はどうなのか。

A

検討委員会は毎月行っている。八頭町としては、新車両の導入を含めた経費の心配をしている。八頭町と共同歩調をとりながら進めたい。



DD16形ディーゼル機関車

委員会報告（抜粋）

若桜町林業成長産業化創出モデル事業

経済産業課

説明

（株）ウッディ若桜が令和6年度に購入を計画し、県に対し予算要望を提出していた木材乾燥機の導入支援について、国の令和5年度補正予算により、予算計上を行うとともに、従来から実施している内容と同様の支援を行うもの。

意見

Q （株）ウッディ若桜の木材乾燥機導入に関して事前説明が無かった。3年前に木材乾燥機は1度入っている。当時の事業者負担金は、1/3だった。今回の導入時の事業者負担は、1/6（1,333万円）で良いのか。また、状況は違うが、農林振興は、機械導入の場合1/2負担が必要。

A 議会に説明はしていなかったが、前回の導入の時も町の持出しはあった。農業者に対する補助率は少ない。

Q 木材乾燥機は、どの燃料を使用するのか。

A 木質チップを使用。

Q （株）ウッディ若桜は若桜材をどれ位乾燥しているのか。

A 調べて報告する。

※事業予算額が多額であり、事業内容の説明も会期直前で不十分であると判断し、今期定例会中に再度関係資料の提出を求め、説明を受ける。



乾燥機



赤松簡易水道貯水槽

議員全員協議会での説明（経済産業課）

- 令和4年度の実績では、（株）ウッディ若桜の乾燥材製品に、若桜町産材のA材は100%使っているが、乾燥材製品全体では、22%にとどまっている。
- （株）ウッディ若桜の既存の乾燥機は11台だが、古いもので平成8年に導入し、25年以上が経過しており、老朽化による故障で、4台が未稼働である。乾燥効率は当初の8割程度に落ち込んでいるため、4台を撤去し、新たな乾燥機を1台導入する。
- 従来B材に回していたものを、今回の導入で乾燥させ、集成材用のラミネ等A材として活用が見込まれる。（乾燥材生産が増加する見込み）

○意見の標記

Q : 質問・質疑 A : 回答

○ : 意見

総務産業教育民生常任

旧眷米分校の利活用

企画政策課

説明

旧眷米分校を改修し、交流スペースとして整備するとともに、民間事業者の誘致に向けた検討を進め、眷米地区・氷ノ山の活性化に向けた取り組みを行う。

意見

Q 施設の賃料はどれくらいを考えているのか。

A 年間30万円で交渉している。

Q 多目的ホールの改修内容は。

A 令和6年度予算説明の時に示したいと思う。

Q *農泊推進に係る地域協議会の構成は。

A 10人で、メンバーの選出には制約がある。

Q 予定している契約期間は。

A 他の事例を踏まえ、期間は検討したい。

○ 集落に説明をしっかりとっていただきたい。

*「農泊」とは、農山漁村に宿泊し、滞在中に豊かな地域資源を活用した食事や体験等を楽しむ「農山漁村滞在型旅行」のこと。(農林水産省HPから抜粋)

民間事業者による眷米分校活用

町内水道一本化へ

若桜・赤松簡易水道の進捗状況

地域整備課

報告

事業の補助金については、令和6年度から国土交通省に管轄が変わるので、満額つくか不明である。また、資材等がウクライナ情勢、万博、能登半島地震などの影響により、入荷しにくくなっている。統合については、令和6年度に終了予定で、改良事業については、糸白見地区の水源が完了後、神直の配管に接続する。諸鹿・岩屋堂は、令和7年度以降で対応する。眷米は、令和7年度から施工したい。

意見

Q 料金改正はいつから行うのか。

A 令和6年4月から行う予定で馬場、内町、寺所は料金改正したい。若桜地区は、令和7年4月に料金改正の予定で、次年度の広報誌に掲載する予定。

Q 若桜宿内に対して、理解を求める説明会は行うのか。

A 説明会を行う予定である。

Q 落折配水池のろ過装置改善は、出来そうなのか。

A 高低差の問題もあるが、令和6年度に検討する。



旧眷米分校

鳥取県町村議会議長会自治功労者表彰並びに 全国町村議会議長会表彰を受けました！

令和6年2月16日（金）、ホテルモナークで鳥取県町村議会議長会自治功労者表彰式並びに全国町村議会議長会表彰式が執り行われました。若桜町議会からは、議員2名、元議員1名、議会だより調査特別委員会、事務局職員が表彰されました。

議員の表彰

鳥取県町村議会議長会表彰

○町村議会議員として21年以上在職し功労のあった者

八頭郡若桜町議会 議員 川上 守



川上 守



山本晴隆

○町村議会議員として13年以上在職し功労のあった者

八頭郡若桜町議会 議員 山本晴隆

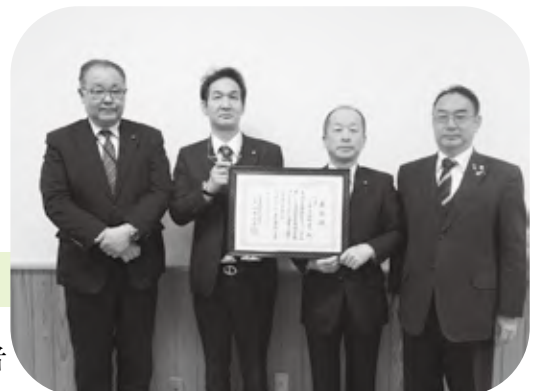
○町村議会議員として13年以上在職し功労のあった者

元 八頭郡若桜町議会 議員 前住孝行

議会だよりの表彰

第31回 鳥取県町村議会議長会 広報コンクール表彰

○若桜町議会 議会だより調査特別委員会 努力賞



議会だより調査特別委員

職員の表彰

全国町村議会議長会表彰

○町村議会の事務局職員として15年以上在職し功労のあった者

八頭郡若桜町議会 書記 伊賀 忍

議会からのお知らせ

議員座談会をうけて町長へ提言！

＜提言事項＞

- (1) 執行部と議会は程よい距離をとり、緊張関係を保ち続けている。議会からの提案・提言をしっかり受け止め、事業執行が着実に行われていると感じている。二元代表制の本来の関係に近いものができつつあると思う。さらに、議会・執行部の関係性を今一度、互いに考え、強固な関係にする必要があると感じる。
- (2) I P告知端末の更新においては、町民への説明をしっかり行い、各集落の要望なども聞き入れ、事業執行をお願いしたい。
- (3) 地籍調査について、今後のスケジュールを検討し、住民に理解をしていただくよう努めていただきたい。



議会の構成が一部変わりました

議長 山根政彦
副議長 小林誠

(令和6年3月11日から)

(令和4年3月23日設置)	議会だより調査特別委員会				議会運営委員会				総務産業教育民生常任委員会															
	委員	委員	副委員長	委員長	委員	委員	副委員長	委員長	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長							
	梶原	川上	谷口	森田	谷口	山本	小林	川上	森田	梶原	山根	山本	小林	川上	中尾	谷口	山本							
	明	守	貴	二郎	貴	晴隆	誠	守	二郎	明	政彦	安雄	誠	守	理明	貴	晴隆							
(令和6年3月22日設置)	人口減少問題調査特別委員会				買物支援助施設整備調査特別委員会				議会改革調査特別委員会				鳥取県後期高齢者医療広域連合議会議員				東部広域行政管理組合議会議員				議会選出監査委員			
	委員	委員	副委員長	委員長	委員	委員	副委員長	委員長	委員	委員	副委員長	委員長	委員	委員	委員	委員	委員	委員						
	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員							
	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員							
	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員							
	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員							

わたしの思い

このコーナーでは、令和6年3月に高校を卒業され、それぞれの旅立ちを迎えられた皆さんからのご要望や率直な意見、若桜への想いを紹介させていただきます。



「素敵な町であり続けて」

やまね えいじ
山根 永嗣さん（糸白見）

春から大学生となり、大阪の大学に通いながら、奈良県で一人暮らしを始めました。知らない土地で知らない人に囲まれて、毎日大変なことも多くありますが、教員になるという夢をかなえるために頑張りたいと思います。地元を離れて、改めて若桜町が住みやすく温かい町であることを実感しました。若桜町は人も少なく、大きな施設やお店も少ない町です。しかし、当たり前のように通りすがりに挨拶を交わし、学校帰りには、「おかえり」と声をかけてくれる方がたくさんいます。そんな人の温かみあふれるこの町を「地元」と呼ぶことができることを、僕は本当に誇りに思います。

ふと、若桜の景色を思い返すと、さまざまな思い出も一緒に蘇ってきます。「あの坂道で初めて自転車に乗れるようになったなあ」とか、「あの公園のまわりを部活前に毎回走ってたなあ」とか、見慣れた景色の一つ一つにストーリーがあって、この町とともに成長してきたことを強く実感します。そういう意味でも、この町は僕にとってかけがえない町です。そして、これからも多くの人とともに成長し、何気ない風景の一つ一つに、みんなの思い出が詰め込まれた町であってほしいと思います。

そのためには、伝統行事やイベント、豊かな自然環境はもちろん、この町特有の雰囲気や人のぬくもりといったものも何一つ変わることなく、この不便さすらも愛おしく感じるような、素敵な町「若桜町」であり続けてほしいと思います。

意見・写真をお寄せください

メール gikaidayori@town.wakasa.tottori.jp

QRコード



あしがき

令和6年度の当初予算も可決され、新年度がスタートしました。議会だよりも、今回から一般質問と常任委員会報告（抜粋）を新しい様式にしました。より一層「伝わる議会だより」にしていきたいと考えています。2月に県町村議会議長会から努力賞をいただきましたが、驕ることなく、今後も改革に努めていきますので、ぜひ、皆様のご意見ご感想をお寄せいただけますよう、よろしくお願いいたします。

（記 森田二郎）



議会だより調査特別委員会
委員長 森田二郎
副委員長 谷口 貴
委員 川上 守
委員 梶原 明
議長 山根 政彦